

組合からの報告

REPORT FROM UNION

新年互礼会の実施

1/17
Tuesday



当協同組合の新年互礼会を1月17日(火)に、今回は会場を変更して、スイスホテル南海大阪(大阪市中央区)において、多方面からの来賓や組合員企業・友好企業、総勢82名の出席のもと、感染症対策を取りながら開催した。



堀川理事長からの挨拶



松原副理事長からの挨拶



豊岡副理事長からの挨拶



互礼会の様子



◆ 創立60周年記念事業 宮古島研修会

教育・情報委員会では、「創立60周年記念 宮古島研修会」と題して、一泊二日の行程で沖縄県宮古島市を訪問した。(20社25名)

2/17-18
Fri Sat



「宮古島から世界へ」、創業1961年「宮古木工芸」で学ぶ。

今回の訪問先である「宮古木工芸」は、創業1961年三線と木工家具の老舗で、島に伝わる手作りの「伝統技術」と「本物の木」にこだわり、沖縄県で唯一、木材の買い付けから仕上げまでの全ての工程を自社で行っている。

代表の与儀さんは、全てを一貫して作っているのが「おじい(祖父の栄功さん)」しかないを知り、この仕事を残し技術を引き継がなければと使命のように感じたとのこと。

扱われている木は、宮古島自生樹の「黒木(クルチ)」「照葉木(テリハボク)」等で、島民にとっては、その辺にあって身近すぎて、その価値を知らずに簡単に切って捨ててしまう人が多い中、行政を交え宮古の木を守り活用していく循環型の資源にするための活動もされているようだ。

その夜は、場所を三線ライブ居酒屋「ぶんみゃあ」に移し、沖縄料理と三線ライブで懇親を深め南国の夜を大いに楽しんだ。

木工制作や木の魅力に対する想い、そして「宮古島から世界へ」と島の発展のために活動されている与儀さんのお話と雄大な自然にふれ、次はゆっくりと時間をとって宮古島をもっと知りたい・・・と参加者一同は有意義な二日間を過ごした。

